

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 西深津小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
5	児童の主体的な学びを全教室で展開	★	継続	「学ぶ喜び・楽しさを実感する授業」を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「さぐり」「学び」「決める」をキーワードに授業を計画的に検証する。 ・子どもと共に創る学びの授業計画から改善まで組織的に取り組む。 	児童アンケート（自分で課題を見つけ進んで取り組んでいる）肯定的回答85%以上 年間5回の授業研究とそれに伴う事前・事後協議会10回実施100%								
2	福山や地域への愛着と誇り、地域への貢献	★	新規	児童が、地域や人、ものとふれ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の、地域の行事への参加意欲を高める。 ・行事や活動の中に、ふれ合う場を仕組む。 	児童アンケート（西深津への愛着を、以前よりも感じる。）肯定的評価85%以上								
4	業務改善・業務削減の推進		継続	自ら仕事内容を把握して、見直しをもって計画的に実施することで、業務改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日に次の週の仕事内容の確認を行う。 ・退校時刻の5分前行動の確実な実施。 	アンケート（時間外労働時間月35時間以内を守る）肯定的回答100%。								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。